

大阪府支援教育研究会と大阪府教育委員会、大阪府教育センターとの懇談会

平成24年2月8日(水)に大阪府支援教育研究会と大阪府教育委員会との懇談会が行われました。今回は、教育委員会から6名、研究会から16名(本部役員、支部長、行事部員)の計22名の参加でした。大阪府支援教育研究会から平成23年度の活動報告の後、「大阪府における支援教育の現状と課題」というテーマでの懇談となりました。

～懇談会の内容について～

大阪府支援教育研究会が「大阪府下の支援教育の現状」について大阪府内各地区からの意見をまとめ、以下の4項目について大阪府教育委員会から説明をいただき、それを受けての質問や意見も交えての内容となりました。

1. 小中学校における支援教育の充実について
2. 府立支援学校の教育環境の整備について
3. 知的障がい生徒自立支援コース、共生推進教室での取り組み等について
4. 障がいのある生徒の就労支援について



1. 小中学校における支援教育の充実について(支援学級の現状と課題)

- ・在籍児童生徒数の増加
- ・支援学級の設置率は、全国平均を大きく上回る
- ・医療的ケア整備事業や非常勤職員の配置
- ・いじめ事象への対応や生徒指導との連携、フォーラムの開催

2. 府立支援学校の教育環境の整備について

- ・平成25年度までに府内4地域で知的障がい支援学校の新校整備に着手
- ・就労を通じた社会自立をめざす「たまがわタイプ高等支援学校」については、「豊能・三島地域」、「北河内地域」、「泉北・泉南地域」で上記支援学校との併設

3. 知的障がい生徒自立支援コース、共生推進教室での取り組み等について

- ・取り組み内容や課題についての報告
- ・平均3倍前後の志願率への対応
- ・工夫された教材教具や授業、仲間作りのノウハウを蓄積。成果の発信へ

4. 障がいのある生徒の就労支援について

- ・たまがわタイプ高等支援学校の支援学校を府内3地域に整備する新校に併設
- ・府立支援学校に「職業コース」を設置。本格実施や試行実施している学校の紹介。
- ・たまがわタイプ支援学校と職業コースの違いについて

今年度は、特に3や4の項目で多くの質問や意見が出されました。2時間という短い時間ではありましたが、参加者から現場の実情、思いや考えを直接にお伝えする機会となり、有意義な懇談会となりました。大阪府教育委員会では、いろいろな事業に積極的に取り組んでおられます。私たち教員もその事業についてもっと知り、まわりの教員や保護者に広めていけるよう、頑張っていかなければいけないと思いました。是非、皆様も大阪府教育委員会支援教育課のホームページにアクセスしてみてください。

大阪府支援教育研究会 行事部